



SGH
SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

能勢高校ニュースレター

第83号 H.27. 12月発行

能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 第13回研究発表会

能勢高校SGH中間発表会 開催

11月20日(金)、「能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育第13回研究発表会 能勢高校SGH中間発表会」を開催しました。この大会は、能勢地域の中高一貫教育の成果を幅広く発信するとともに、多くの方々から意見や助言をいただくことにより中高一貫教育を一層改善充実させる目的で行われています。今回は『~THINK GLOBALLY ACT LOCALLY!~世界で考え、地域で学べ』をテーマに、第一部では公開授業を、第二部全体会ではSGH中間発表、講演を行いました。

当日は、能勢町内の全教員をはじめ、町内外からの来賓、教育関係者、保護者や地域の方々など、約200名の方々の参加をいただきました。

第一部では、4系列の授業では、本校アメリカ出身のALTによる英会話授業、町内2歳児と保護者を招いた「わくわく教室」、農場では小学生と能勢高生徒による交流授業、「よのなか科」における中高生合同のアクティブラーニング、SGHではイギリス出身のネイティブの講師による英語プレゼンテーション講座など、それぞれ特色のある8つの講座を開きました。

【第一部 公開授業】

系列	教科・科目名	内容	校種・学年
人文・理数	NS国語	高校の授業を先取りした発展的な内容	東・西中学校3年生
	NS数学		
国際・情報	英会話	スヌーピーのひみつ	能勢高2年生 東・西中学校3年生
人間・環境	子どもの発達と保育	「わくわく教室」 町内2歳児と保護者を招いた交流授業	能勢高2年生 東・西中学校3年生 町内幼児と保護者
食・花・交流	総合的な学習の時間	農場の果物を使ってジャムを作ろう	能勢高2年生 久佐々小学校4年生
よのなか科	アクティブラーニング	15歳は大人?それとも、子ども? —大人と子どもの境界線はどこに—	能勢高1年生 東・西中学校3年生
スーパーグローバルハイスクール(SGH)	英語プレゼンテーション講習	Where did you go? 海外旅行での体験を話そう	能勢高1年生 東・西中学校3年生
	SGH課題研究	海外研修等にもとづく中間発表準備	能勢高2年生 SGH選択生徒



英語プレゼン講座



NS国語



わくわく教室



よのなか科

【第二部 全体会】

<SGH中間発表> 能勢高校2年SGH選択生徒12名

発表内容: マレーシア研修報告・SGH課題研究英語プレゼンテーション 他
11/1~8で実施のマレーシア研修についての報告に続き、英語による課題研究の発表を行いました。これまでSG講座などで培ってきた英語プレゼンテーション力を発揮していました。

<講演> 演題: 「地方創生と教育の魅力化~SGHの研究開発を通じて~」 地域再生マネージャー (総務省ふるさと財団)、地域活性化伝道師 (内閣官房)、地域力創造アドバイザー (総務省)、イング総合計画株式会社代表取締役 齊藤 俊幸 様
地域おこしには、地元の高校が欠かせない存在です。SGHに取り組んでいる能勢高校の活力は、必ず能勢町の活性化に大きく貢献することについてお話されました。



連携中学2年生クラブ体験入学

~ 能勢高校のクラブ活動を高校生と一緒に体験 ~

10月16日(金)、東中学校、西中学校の2年生全員参加によるクラブ体験入学を実施しました。これは、7月の授業体験入学に続くもので、今回は全員が2つのクラブを選択して、能勢高校生と一緒にクラブ活動を体験しました。

体育館での開始式は能勢高生徒会の司会進行で進められ、生徒会長松田くるみさんの挨拶、クラブ代表硬式テニス部キャプテン中川亜優さんの歓迎の言葉に続き、生徒会から各クラブを紹介しました。このあと、各部の部員の誘導で活動場所に移動し、1時間ずつ2つのクラブを体験しました。どのクラブも中学校とは活動内容や練習方法が異なり、中学生にとって能勢高校のクラブ活動を知るとともに、新たな発見となる貴重な体験となりました。
部活動<体育系> 硬式野球、サッカー、硬式テニス、卓球、バドミントン、空手道、バスケットボール、ラグビー、<文化系> 書道、家庭科、茶道、漫画研究、自然科学、華道、美術、軽音楽、ダンス、農業クラブ(農業科活動)、ユネスコクラブ(ユネスコスクール活動)



第23回大阪府産業教育フェアに参加しました！

10月17日(土)・18日(日)の2日間にわたって、弁天町オーク200で開催された第23回大阪府産業教育フェアに参加しました。この「産フェア」は農業、工業、商業などの大阪府下の実業系高等学校が一堂に集まり、日頃の教育活動の成果を紹介するイベントです。ロボット相撲、ファッションショー、マッサージ体験やフラワーアレンジメント等、非常に盛りだくさんの内容です。

本校は、『能勢高校の生産物』をイメージした展示及び蜂蜜・栗・黒米の販売を行い、農業クラブの2年生 西川裕太君、畑朝飛君、野口聖弥君、山中仁君、山田寛君、留学生シュエン君が担当しました。また、閉会式には生徒会より2年生 倉脇直哉君が旗手として参加、閉会式では生徒会より原田朔弥さん、小路昌秀君が司会進行を、松田くるみさん、1年生大城桜子さんがその補助をつとめました。また、今年もPTAの方々にも会場案内などご協力いただきました。



閉会式の司会



展示作品



農産物の販売

大丸梅田店で農産物の販売実習

10月31日(土)、11月1日(日)、大丸梅田店で農場生産物の販売実習を行いました。

「食・花・交流」系列の2・3年生のうち、両日あわせて11名の生徒が参加し、自らが生産した生産物を販売しました。その際には、おいしい食べ方を説明したり、本校農場のことを説明したりと、生徒とお客様との会話が盛り上がる場面も見られました。

文化祭などの行事での生産物販売とは異なり、都心に出向き本校生産物を販売することは、本校や能勢町をPRする絶好の機会です。

今後も農場生産物を通して、生徒自らが能勢高校について発信できる機会を設けていきます。



SGHI スーパーグローバルハイスクール

SG基礎知識講座

● 2年生「森は海の恋人～人の心に樹を植える」

NPO法人 森は海の恋人 理事長 畠山重篤さん

10月28日(水)、NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」や、「世界一受けたい授業」でも注目を浴びた牡蠣養殖業家の畠山重篤さんに宮城県気仙沼市より来校いただき、「森は海の恋人～人の心に樹を植える～」と題して講演していただきました。畠山さんは、牡蠣養殖業を営む一方、京都大学教授、NPO法人「森は海の恋人」理事長を務め、著書も多数あるなど、様々な活動を展開されています。

講演では、ご自身が営んでいる牡蠣養殖が森の恵みによって生かされていることを実感し、長年にわたり植林活動を行っていること、中山間地の森林を涵養している地域の子もたちを海へ招き、体験活動などを通して森の大切さを語る活動を行っていること、そして、東日本大震災で壊滅状態になった気仙沼の海で、森を守ってきたことで牡蠣養殖を再開できたことなどを話されました。畠山さんの活動は、小中学校の教科書でも取り上げられており、高校の英語の教科書では“**The sea is longing for the forest.**”として紹介されています。

「地域の森林資源をどのように生かすのか。」猪名川の源流にあたる能勢町での今後の地域活性化の一端を考える有意義な時間でした。



● 1年生「フェアトレードの理念と実践」

(株)マザーハウス大阪店店長 濱口香織さん

11月2日(月)、バックやアパレル製品を途上国で生産し、日本や台湾、香港で販売する会社マザーハウスで働く濱口さんに講演していただきました。

「フェアトレードの理念と実践」をテーマに、ご自身が海外青年協力隊員、そしてJICAでの調整員としての海外での活動経験から、フェアトレードについて話していただきました。

そして、バングラデシュでの“消費者に思いを馳せた”カバン製造事業の展開でTV「情熱大陸」でも話題になったマザーハウスの取組みを、紹介していただきました。「もし、あなたがインドネシアで事業を立ち上げたら」という課題でワークショップも行いました。フェアトレードの上を行く新しい形のビジネスで世界の貧困撲滅に挑む会社の理念と実践について、学ぶことが出来ました。

